**指導のてびき**

メッセージアプリ（など）のつかいかたについてかんがえよう

　―人権局啓発冊子「みんなともだち」を活用してー

　◆目的

　　　・悪口を言わないことや書かないこと、「トゲトゲ」ことばを使わないことなど、日常のやり取りで大切にするべきことは、メッセージアプリ（SNS等）といったインターネット上でのやり取りにおいても同じであることについて知る。

・インターネットを活用したアプリケーションは便利なだけでなく怖さもあることを知り、自分に関わる情報を大切にしようとする姿勢を持つ。

　◆対象

　　　・小学校１・２年生

　◆時間

　　　・４５分

　◆教材名

　　　・啓発冊子「みんなともだち」（大阪府府民文化部人権局）

1. Acrobat PDF形式（94.45MB）

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/14854/00000000/kyozai1.pdf>

1. Microsoft PowerPoint形式（10.42MB）

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/14854/00000000/kyozai1.pptx>

　◆指導にあたって

・学校の一人一台端末以外は使用したことがない児童や、限られた種類のアプリケーションしか使用していない児童など様々な実態があることを想定し、アプリケーションの機能や用語などについて、状況に応じて説明をするなど配慮して進める。

・これまでSNS等を使用する中で悪口を書かれたりいじめに遭ったりした経験のある児童がいることを想定して、児童の表情等を丁寧に把握し、変わった様子があればその場で声をかけたり、授業後に気持ちを聞いたりするなど配慮して進める。

　◆展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 学習活動 | 留意点 |
| ●ふだんの学習について振り返るとともに、学習のめあてをつかむ。(５分) | （発問）学校の一人一台タブレットで、ふだんどんなことをしていますか。  　◆予想される児童の反応  　　　・「インターネットを使って調べる」　　　・「動画を観る」  　　　・「写真や動画を撮る」　　　・「絵を描く」    （説明）いろいろな使い方ができますね。パソコンやスマートフォン、テレビなどには他にもいろいろなことができるアプリケーション、縮めてアプリとよばれるものがたくさんあります。  では、今日はそのうちの１つ、いろいろな人にメッセージを送ることができるアプリ「クマッター」を使ったお話をみんなでいっしょに読みましょう。 | ・児童が発言しやすい雰囲気をつくるよう心がける。  【今日のめあて】  「クマッター」をやる？やらない？についてかんがえる。 |
| ●絵本の内容について考える。  (30分) | （説明）これから、絵本を読みます。  （教材）啓発冊子「みんなともだち」（大阪府府民文化部人権局）を読む。  （発問）分からないことはないですか？  （発問）あなたは「クマッター」をやりますか？やりませんか？どうしてそう思っ  たかも書きましょう。  　◆予想される児童の反応  　　　「やりたい！」  　　　・いろんな人とおはなしができるから  　　　・友だちが増えるかもしれないから    　　　「やらない。」  　　　・悪口を書かれるといやだから  　　　・知らない人に何か聞かれるかもしれないから  　　　・悪口に思われるといやだから  　　　「どっちにするか迷う…」  　　　・聞かれたことにうまく答えられないときが不安だな  　　　・保護者にダメって言われるかもしれないから  　　　・いろんな人と話せるのは楽しそうだけど、知らない人もいるからなあ  　　　・やり取りをしているときに、いやなことを言われたらどうしたらいいのかな    （発問）みんなの意見を聞いて、考えが変わった人、新しい発見があった  人はいますか？どうしてそう考えたかも教えてください。  　◆予想される児童の反応  　「やりたくなった。」  　　　・保護者といっしょにやれば安心してできそうだから  　　　・自分の好きなことをいろんな人とたくさんお話しできるから  　　　・自分がいやなことは答えずに断ってもいいんだね  　　　「やっぱりこわくなった」  　　　・悪口やいやなことを言われるといやだ  　　　・だまされそうだから  　　　・自分の大切な情報を断り切れずに言ってしまいそう | ・絵本を教室のテレビ等に表示する。  ・不安を抱いている子どもがいることを想定し、児童の表情の変化に注目するなど、様子を注意深く見る。  ・話をつかませるため、質問に答えることでストーリーをおさえる。  【児童が考えた理由はどれも正しいと認め、インターネット上のやりとりで大切にしたいことを確認する】  ・書き込むときは保護者に確認することをおさえる。  ・自分の言葉が相手を傷つけていないかを考えて返事をすることをおさえる。  ・おもしろいことを書き込んでいたり、優しい言葉でメッセージを送ってきたりしていても、やり取りしている相手は直接会ったことがない人であることをおさえ、自分の大切な情報は教えてはいけないことをおさえる。  【児童が考えた理由をもとに、インターネットを活用することでできることや、インターネットを活用する上での危険性についてもおさえる】 |
| ●ふりかえる。  (10分) | （説明）みんなの意見を聞いて、今日考えたことなどをワークシートに書きましょう。  　　※時間の許す限り、感想を学級全体で共有して終わる。 | ・日常のやりとりで大切にするべきことはインターネット上でのやりとりにおいても同じであることを確認する。 |

≪参考資料≫

1. インターネットの危険から子供を守る【内閣府】

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/cu_internet_kodomo/index.html>



２．インターネットトラブル事例集【総務省】

[https://www.soumu.go.jp/main\_sosiki/joho\_tsusin/kyouiku\_joho- ka/jireishu.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html)

３．「インターネットによる人権侵害」に関する参考資料【文部科学省】

<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinken/sankosiryo/1322252.htm>